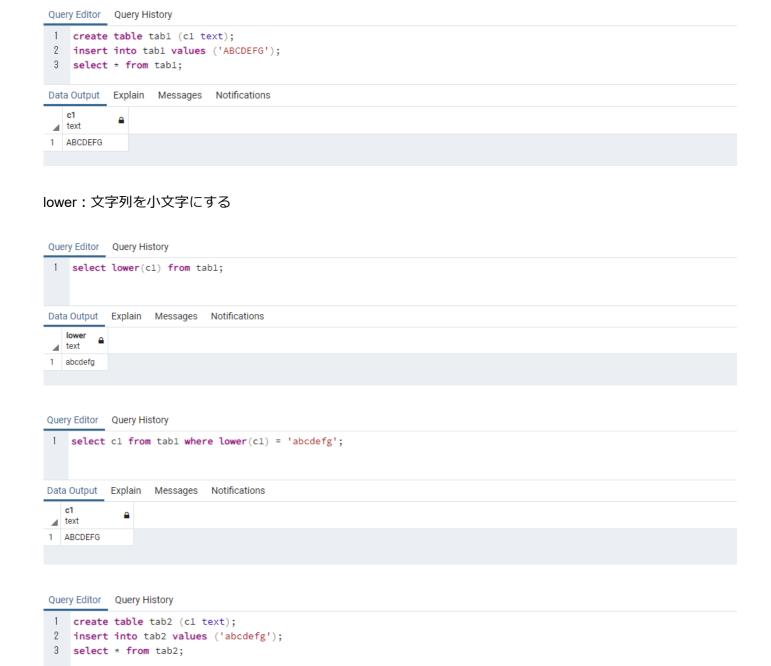
9-5 文字列関数

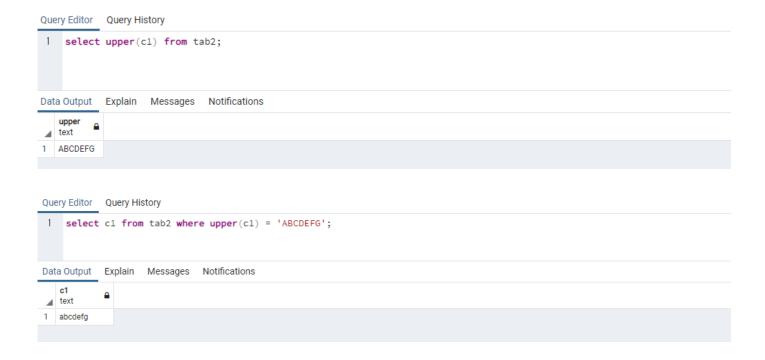
9-5-1 lower () とupper ()



upper:文字列を大文字にする

1 abcdefg

Data Output Explain Messages Notifications

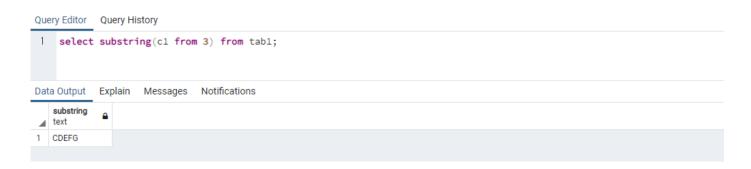


9-5-2 substring ()

文字列の一部を抽出することができる。



3文字目以降を取り出す。



下記のように、検索に活かすこともできる。



3文字目から2文字文を取り出す。



9-5-3 replace ()

文字列中の特定の文字を置き換えることができる。



9-5-4 octet_length () /char_length ()

octet_length(): 文字列のバイト数を取得できる



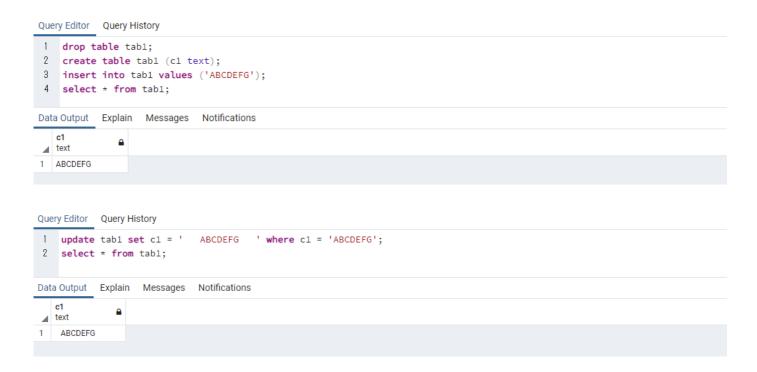


char_length(): 文字列の文字数を取得できる



9-5-5 trim () /Ipad () /rpad ()

trim(): 文字列における空白や指定した文字を削除することができる(トリミング)



下記オプションで、対応する文字を削除する。

leading:文字列の先頭の文字 trailing:文字列の末尾の文字 both:文字列の前後の文字

また、文字を指定しなければ、デフォルトで空白を消してくれる。

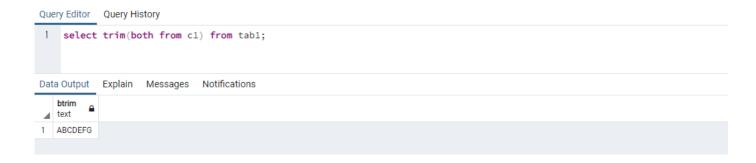
次の例では、文字列の先頭の空白を削除している。



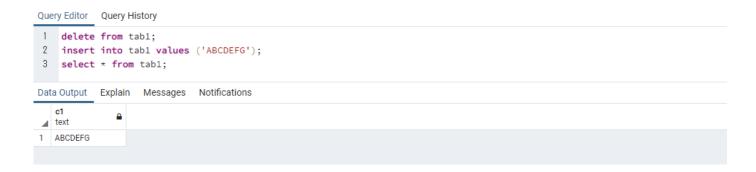
文字列の末尾の空白を削除する。



両側の空白を削除する。



指定した文字を削除するのとは逆に、指定した文字を埋め込むのがパティングである。



lpad:指定した文字数になるまで、先頭に文字を埋め込む(デフォルトでは空白)



rpad:指定した文字数になるまで、末尾に文字を埋め込む(デフォルトでは空白)

